

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	サポートステーション みつばちパーク		
○保護者評価実施期間	令和 7 年 12 月 16 日		～ 令和 8 年 1 月 9 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	6人	(回答者数) 5人
○従業者評価実施期間	令和 8 年 1 月 13 日		～ 令和 8 年 2 月 2 日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8人	(回答者数) 8人
○事業者向け自己評価表作成日	令和 8 年 2 月 24 日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	多職種の職員が配置されており、より専門性のある支援ができる。	看護職員が配置されていることで医療的ケアが必要なお子さまも安心して過ごしていただける環境を整えている。経験豊富な保育士や児童指導員、精神保健福祉士などが多角的な視点をもって必要な支援や計画を作成し、実行している。	言語聴覚士による専門的なアドバイスや課題に対するアプローチを支援計画に活かし、機能訓練や目標に向けた支援の取り組みを行っている。
2	自然に恵まれた立地と園庭、お子さまの特性や活動内容に合わせて訓練室の使い分けができる。	自然に囲まれた広い園庭では、季節の移り変わりを感じながらボール遊びや鬼ごっこボール遊びなどダイナミックな活動を行うことができる。また、訓練室も3部屋あり活動の内容やお子さまの体調や気持ちに合わせて使い分けやクラス分けをすることができる。	園庭に遊具を設置し、ダイナミックに遊べる環境づくりや恵まれた環境を生かした活動の計画を行い、また安心安全な空間の提供に努める。
3	車いすやバギーを利用しているお子さまも安心して登園できる。	玄関に段差があり、車いすやバギーを利用しているお子さまの移動や移乗が保護者や職員の負担になっていたが、車寄せに屋根と車椅子等の昇降機を設置した。	安心安全に移動することができ、雨に濡れることなく移乗できるよう、機器の点検や使用時の安全確保に努める。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保育所、認定こども園、幼稚園、放課後児童クラブ、児童館との交流や地域の他のこどもと活動する機会が少ない。	他の施設と活動の時間帯や活動内容を合わせることが難しい。法人内の保育園との交流も移動に時間と車両が必要。	活動の場所選定や内容の検討を行い、一緒に活動できる機会をつくる。
2	保護者会や研修会など保護者同士の交流に機会は設けられているが、きょうだ同士の交流の機会は少ない。	感染対策や職員配置の問題で、きょうだい児も一緒に活動できる行事や計画をすることが難しい。	屋外でのイベント開催や室内活動の部屋を分けることで感染対策をする。行事参加の人数制限を緩和し、きょうだい児も一緒に活動できるような体制や計画を検討する。
3			